

平成27年7月24日

問い合わせ先

第四管区海上保安本部海洋情報部

監理課長 松村 治寿

電話 052(661)1611 内線 2510



南海トラフを立体的に示す3D海底地形図を展示します

第四管区海上保安本部では、水路記念日の9月12日を記念し夏休み期間中の8月15日（土）から9月13日（日）の期間、「名古屋港ガーデンふ頭 JETTY WEST」において、3Dメガネを使って南海トラフや日本周辺の海底地形が立体的に飛び出して見える3D海底地形図を展示します。

第四管区海上保安本部では、海洋に関する理解の増進の一環として、また海溝型地震や地震津波等の災害に関する知識・防災意識の向上を図るため、海上保安庁が行ってきた海洋調査をもとに作製した3D海底地形図や津波防災情報図を展示するとともに、海底地形調査の方法や様子などについて紹介します。

主な展示内容として、3Dメガネをかけてご覧いただくことにより起伏に富んだ日本周辺の海底地形を体感していただける南海トラフ周辺と日本周辺の3D海底地形図は図の上に立ってみる事が出来ます。また、この3D海底地形図がどのようにしてできたかの解説や日本周辺の特徴的な海底地形を紹介するパネルを展示します。このほか大きな津波の到来が予想される東海地方の海域での津波の特徴を示す津波防災情報図を展示します。過去に繰り返し巨大な地震と津波を発生させている南海トラフの様子や東海地方の近くに存在していることを実感下さい。

1. 展示期間

平成27年8月15日（土）から9月13日（日）まで

臨時海の相談室開設 平成27年8月15日（土）、9月12日（土）

2. 開催場所

名古屋港ガーデンふ頭 JETTY WEST 2階

（名古屋市港区港町1-7）

3. 展示内容

（1）3D海底地形図（2図）展示

・南海トラフ周辺3D海底地形図（2m×4m）

・日本周辺3D海底地形図（3m×5m）

床面に設置した海底地形図を3Dメガネをかけてご覧いただくことにより起伏に富んだ日本周辺の海底地形を体感できます

（2）パネル（A0サイズ、8点）展示

・3D海底地形図作成の基となる海底地形調査の方法や様子、測量船や

調査機器の紹介

- ・日本周辺の特徴的な海底地形について解説
- ・伊勢湾、名古屋港、衣浦港、蒲郡付近、豊橋付近、四日市港、津松阪港の各港の津波防災情報図の展示及び解説

(3) 臨時海の相談室開設

- ・展示会場に職員を配置し海に関する様々な質問にお答えします。

4. 取材

現地取材を希望される社は、取材の前日までに第四管区海上保安本部海洋情報部までご連絡下さい。



水路記念日について

9月12日は、海上保安庁海洋情報部(旧水路部)創立の日です。

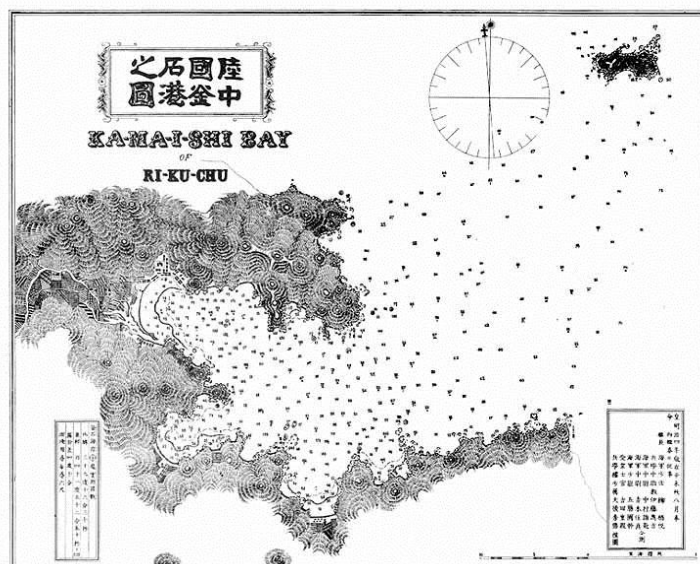
明治2年(1869年)8月に兵部省が設置され、明治3年3月には兵部省の下に海軍掛と陸軍掛の分課が設けられました。

明治4年(1871年)7月28日に兵部省が海軍部と陸軍部に分けられ、海軍部に第1秘史局、第2軍務局、第3造船局、第4水路局(水路局)、第5会計局の5つの局が置かれました。ここに、当時わが国の緊急課題であった日本沿岸の安全を図るための海図作りを使命とした水路局が初めて誕生しました。

明治初期、勝海舟らとともに長崎海軍伝習所においてオランダ式の航海・測量術を学んだ津藩(現三重県)出身の初代水路局長 柳楢悦(やなぎならよし)は「水路事業の一切は海員的精神に依り、徹頭徹尾外国人を雇用せず自力を以て、外国の學術技芸を選択利用し、改良進歩を期すべし」を大方針として、日本人のみでの測量を精力的に推進しました。

わが国における近代的な海図の第1号は、明治5年9月(旧暦8月)に完成した「陸中国釜石港之図」です。(左図)

伊勢湾に関するものとしては、「伊勢之國礫(さざら)港之図」(1865年(慶應元年)刊行、明治5年再版)があり、これは三重県五ヶ所湾の海図で1862年からの幕府海軍の測量によるもので、のちの初代水路部長柳楢悦(当時は津藩士)らにより行われ海図が作成されました。



昭和26年(1951年)に海上保安庁が水路局の誕生した7月28日を水路部の創立の日として制定しましたが、昭和46年(1971年)の水路部創立100周年を期して、明治初期に用いられていた太陰暦(旧暦)の7月28日を現在使用されている太陽暦に換算した9月12日を水路部の創立の日として「水路記念日」を制定しました。



設立当時の水路局



現在の海上保安庁海洋情報部

水路局から海洋情報部への変遷

水路局は、兵部省に設置されて以来、所属省庁が移り変わって現在に至っています。移り変わりの中で、水路部の観象台業務の移管が行われ、天文関係は文部省へ、気象関係は内務省へ移管されました。

明治	4年(1871年)	9月12日	(旧暦 7月28日)	兵部省海軍部水路局
〃	5年(1872年)	4月 5日	(旧暦 2月28日)	海軍省水路局
〃	5年(1872年)	11月13日	(旧暦10月13日)	海軍省水路寮
〃	9年(1876年)	9月 1日		海軍省水路局
〃	19年(1886年)	1月29日		海軍水路部(海軍省外局となる)
〃	21年(1888年)	6月27日		水路部(海軍の冠称廃止)
昭和	20年(1945年)	11月29日		水路部(運輸省外局となる)
〃	23年(1948年)	5月 1日		海上保安庁水路局(海上保安庁設置 ・内部機関となる)
〃	24年(1949年)	6月 1日		海上保安庁水路部
平成	14年(2002年)	4月 1日		海上保安庁海洋情報部(現在に至る)